

片耳豚
R18
成人向け

18歳未満の
購入・閲覧禁止

slave mission

レオナ潜入調教の罠



レオナが行く!
潜入!淫乱調教24時!

レオナ・ハイデルンの
潜入調査一人で出来るかな？
駄目気な流れで
本編へ



レオナ・ハイデルン——
傭兵部隊に所属する彼女の
任務は多岐にわたる

直接の戦闘行為に関わらず
あるいは調査や潜入といった作戦も

キユ

『任務レポート』
レオナ・ハイデルン——
口頭入力により記録端末に記す

端末は通信機を兼ねるため
秘匿所持を実行——

今回の潜入先は客船であり
およそ4か月をかけ世界を回る
事前調査により掴んだ
非合法薬物や兵器売買の
証拠を押さえることが最優先任務である

CHANGE

潜入は成功——
給仕として乗り込んだが
すぐさまV・I・Pの
対応役に任命される
——理由は不明

奇抜な衣装を強制されるが
より確度の高い情報を入手できる
配置につけたのは任務的には
有用と判断する——

潜入から三日目——
目立った情報は得られず

秘密保持のため逃亡防止用の
発信器を取り付けられるが
任務上の支障は覚えぬ

問題があるとするれば
監視対象からの過剰接触——
いわゆる『セクハラ』行為の
頻度が多いように感じる

振りほどきたいが
目立つことを考えると
派手な動きはできない

なるべく反応を返さないように努めると
手つきがより不躑躅になった——
任務に支障が出るようなら
対処を考えねばならない

潜入から六日目——
体の感覚に異変があらわれる……

セクハラは相変わらずだが
それに対し発熱や発汗——
触れられた箇所によつては
身体の奥底が震えるような
感覚におそわれる

そんな私に対して執拗な
セクハラを続ける男——

確か貿易商——から
「この状況で我慢強いじゃないか」
という発言を聞く

発言の意味は不明——
だがこの状況はマズい……

潜入から八日目——
体調の変化は止まらない

触れられると力が抜け
抵抗の意思が弱まる



まずい——



胸と股間を嬲られるたび
甘い痺れが走り思考が白熱する

これが『発情』だと気づかされたのは
貿易商の男に口内を
蹂躪されながらの嘔きだった



潜入から九日目――

誰が私を『専属』にするかという
オークションが開始された……

身体の『発情』は
日ごとにひどくなっている
突き刺さる視線に
体が震える――

なんとかさせねばならないが
今のところ打開策が無い
私を競り落としたのは
貿易商の男だった――

潜入から十日目——
男の部屋に引き入れられる

気づいていないかもしれんが
君は大変に魅力的だ

肉体美と卑猥さが
混ざり合った雌の身体……
一目見た時から
君を競り落とすと決めていたよ

バツ

おお……たまらんな——
硬さの中に柔らかさがあり
吸いつくような質感だ

意味が分からない——

君の立場と起こっていることを
今日からじっくりと
教えてあげよう

ピッ

クッ
クッ

スッ

スッ

男が言うには身体の変調は
首輪から流れるパルスが
感度を大幅に引き上げている
かららしいー

最新の技術が流用され
自力で外すと起爆する仕様

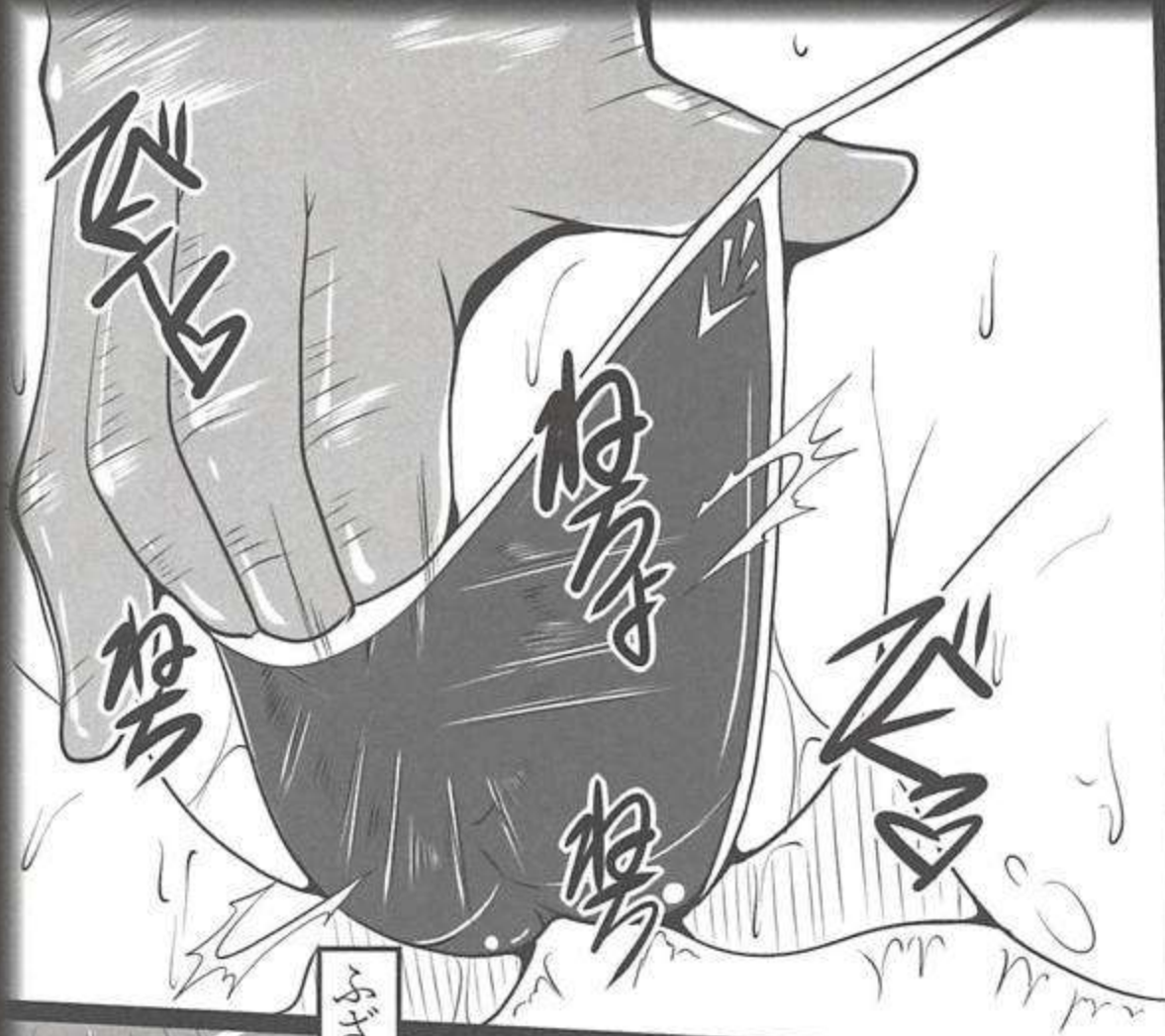
おわ

船内にいる限り場所が特定され
遠隔での起爆も可能

どうやらV・I・Pルームに
送られた女は奴隷娼婦として
主権に目をつけられた者達らしい

パルスの強度は調整でき
『所有者』——この場合
この男にもそれができる

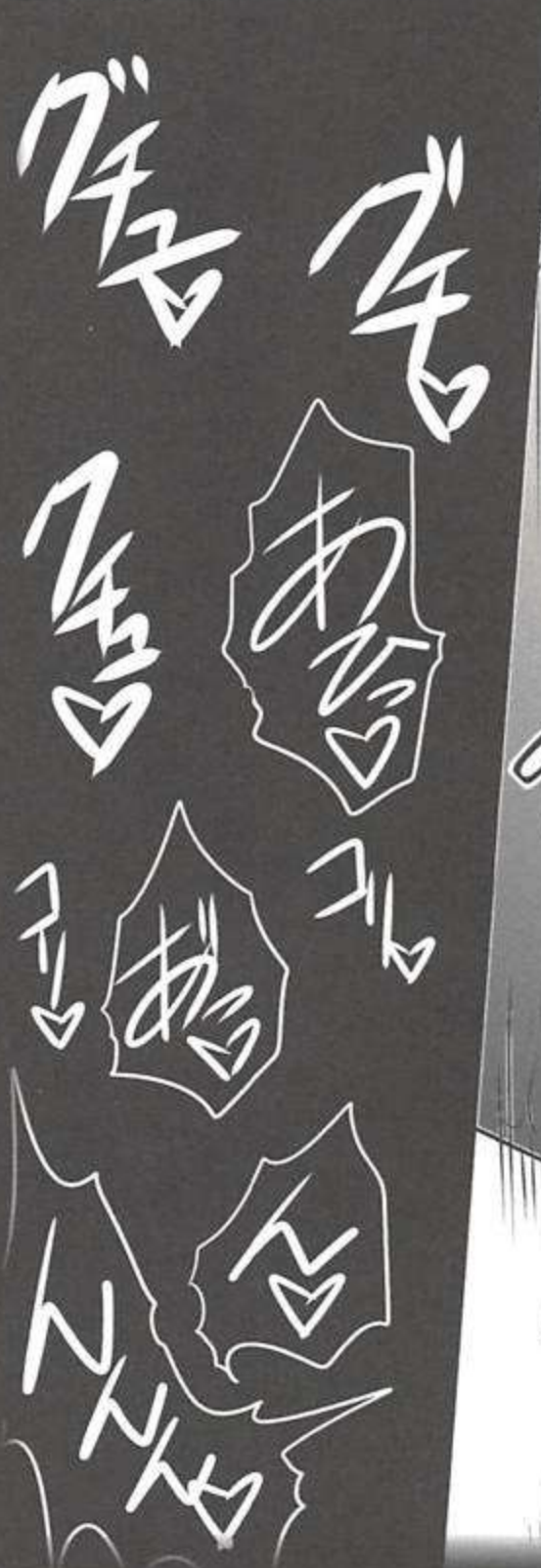
私はまんまとハメられたのだ



なあに……安心してまえ
船旅が終わるまでに
君が自分の境遇に
満足できるよう躰けてあげよう



ふざけ……た……ことを！



ダメ……だ……
考え……まじまじ……
やめっ……そこお……



まずは自分の立場を
理解することから始めよう
存分に悶え鳴くといひ

そして私は——
完膚なきまでに

ズッ!!

ズッ!!

ズッ!!

ズッ!!

どっゅん

犯された

どっゅん

ズッ!!

素晴らしい!
十代の頃のように昂ぶる!

あらゆる意志や矜持が
一瞬で吹き飛ぶほどの
圧倒的な『ナニ』かで
押し流された

想像以上にマズい……
この状態では任務どころか
満足な抵抗すらできない

まさに墮とされるために
あるような肉壺だよ!

ズッ!!

ズッ!!

体内に残る熱さが否応なしに
我が身の今後を予感させた

潜入から十三日——
一日中セックス
部屋からは出ていない

潜入から十六日——
開発と称した絶頂漬け
後半の記憶が無い

潜入から十八日——
奉仕を断ると
絶頂の手前で止められる

潜入から十九日目——
昨晚の続き

潜入から二十日目——
奉仕をすることを受け入れる

潜入から十五日——
性感帯をくまなく探られる

潜入から二十一日——
奉仕の指導
『ご褒美』と称したセックス

潜入から二十三日——
チンポに『様』付けするよう
強要される——
正直意味が分からない

チンポ……様に……
奉仕……する……ぞ

なんとか脱出——または
外部との連絡手段を
模索しているがままならない

それもこれも男の精力が
凄すぎるからだ……

射精——精子
頭がクラクラする

今日もきつと——気絶するまで
チンポ『様』で捌られる

どうかなレオナ君——
ケツ穴で甘イキし続ける暮らしは？
はじめての時に比べれば
格段に——『くる』だろうか？

あ♡♡♡
や♡♡♡
あ♡♡♡
あ♡♡♡

潜入から四十七日——
『御主人様』の言いつけ通り
ここ数日はアナルバイブを
挿入したまま過ごしている

コラコラ返事はキチンと
返さなくてはダメじゃないか

も……う——これ以上は
許し……てえ♡
あ……たまあ——♡
おかひくなるう……♡

イカンイカン
これは躰なんだから
反抗的な雌猫には
特に念入りにせんとな

そん……なっ♡

今日を乗り切れば——
乗り切るためのハメ乞い♥
これは仕方のないことだから♥

かん

かん

おん

御主人様の
ハメ殺しチンポ♥

キタ……っ♥

大丈夫——



今日を耐えて——♥

耐え——♥

あゝ♥
あゝあゝ♥

——むりいいい♥
チンポ様つつよいい♥

やめろお♥こびるなあ
ワタシの雌穴♥穴♥
あつ……あつあつ

あゝあゝあゝ
あゝあゝあゝ
あゝあゝあゝ

チンポ様
おん

おん

潜入から六十日——
本部からの連絡はなし
依然任務は継続中と判断

随分と下品に腰を振るじゃないか
淫乱雌猫め——

そうがつつくな——
これはまだまだ調教が必要なな

なんて男だ……♡
これ以上ワタシを調教——
んんっ♡……なんてえ♡

レオナ・ハイデルン——
任務を鋭意——続行する

早……くう♡
今日のお情け——を♡

御主人……んっ♡様がぁ♡
仕込んだんじゃない……かぁ♡

あとかき

えー、そんな感じでレオナ本です。

片耳豚ダヨー。

不意に思い立ち、よくよく考えたら

かなり好きなキャラなんですけど、

そういえば今まで描いたことなかったな、と。

割と属性強めな女傭兵って可愛いですね。

むしろ女傭兵って単語だけで

割とカワイイヨ。地域ーダヨー。

もうなんか進行がヤバイのは

きっと僕がそういう病気持ち

なんだからだと思いますね。イツモ。エエ。

それでは、無事に出来たらいいなinサマー。

PS：ダメな時は、何をやっても大惨事。

Slave mission

奥付

発行/片耳豚

印刷/金沢印刷

発行日/2018.08.12

連絡/katamimibuta@yahoo.co.jp



slave mission

